

日清食品カップ 第34回全国小学生陸上競技交流大会 富山県大会要項

- 1 主催 (公財) 日本陸上競技連盟 (一財) 富山陸上競技協会
- 2 後援 富山県教育委員会 (公財) 富山県体育協会 富山県スポーツ少年団
財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団 北日本新聞社
- 3 主管 (一財) 富山陸上競技協会
- 4 協賛 日清食品ホールディングス株式会社
- 5 協力 株式会社アシックス 株式会社ニシ・スポーツ ミズノ株式会社
株式会社ゴールドウィン 日本海電業株式会社 高重記念クリニック
- 6 場所 富山県総合運動公園 富山県陸上競技場 (富山市南中田 368 Tel 076-429-8835)
- 7 期日 平成30年7月1日(日) 受付 8:00~8:30 開始式 9:00 競技開始 9:30
- 8 種目及び参加人数 各郡市は下表を1枠としてその範囲以内で選手団を編成する。
(なお、富山市は4枠、高岡市は2枠、射水市は2枠で選手団を編成する。ただし、
総監督は1名とする。)

種別	種目	選手	指導者	備考
リレー	男子 4×100m R	5名×3チーム	3名	優勝チームは全国大会
	女子 4×100m R (男女友好レース)	5名×3チーム (男女各1名)	3名	〃 (リレーの控え選手による100m走)
単独種目	男子 5年100m	4名	4名	優勝者は全国大会
	女子 5年100m	4名	4名	〃
	男子 6年100m	4名	4名	〃
	女子 6年100m	4名	4名	〃
	男子 80mハードル	2名	2名	〃
	女子 80mハードル	2名	2名	〃
	男子 走幅跳	3名	3名	〃
	女子 走幅跳	3名	3名	〃
	男子 走高跳	3名	3名	〃
	女子 走高跳	3名	3名	〃
	男子 ジャベリックボール投	3名	3名	〃
女子 ジャベリックボール投	3名	3名	〃	
単独種目	男子 1000m	2名	2名	県大会まで
	女子 1000m	2名	2名	〃
		72名	48名	
			1名	(総監督)
選手団合計				121名

- 9 参加資格並びに条件
 - (1) 選手は、小学校5・6年生の年齢に該当する児童。小学5年生種目への出場者は平成19年(2007年)4月2日~平成20年(2008年)4月1日の間に生まれた者とする。小学6年生種目への出場者は平成18年(2006年)4月2日~平成19年(2007年)4月1日の間に生まれた者とする。
 - (2) 指導者は、出場するリレーチーム及び単独種目のそれぞれの指導者。
 - (3) 総監督は、各郡市陸上競技協会が指名する登記登録者。
 - (4) リレーチームの編成は、各郡市予選会を通過したチームとする。
(全国大会は5名でのエントリーであり、郡市予選会後の追加エントリーはできません。予選会プログラムを提出すること。)
 - (5) チーム名に小学校を使用してもよい。コンピューター入力上、全角6文字、半角12文字以内
が望ましい。(富山小学校、富山クラブ、富山AC、トマジユアなど)
 - (6) 出場制限 1人1種目とし、種目を重複して出場することはできない。

- (7) 参加料 1人700円
 振込先 北陸銀行 店番号106 県庁内支店 普通口座6010658
 一般財団法人 富山陸上競技協会普及部2

10 競技規則

平成30年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行うが、児童の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。

11 競技上の注意事項

(1) 全般

- ア 競技に際してはスパイク(スパイクピンは、オールウェザー用9ミリ以下のピン使用)又はシューズを使用すること。
- イ ナンバーカードは、支給されたままの大きさをユニホームの胸と背につける。腰のナンバーカードは写真判定のため右腰のやや後方につけること。
- ウ 競技者の集合場所は第2ゲートとする。集合場所には、競技に出られる服装でナンバーカードをつけて集合すること。集合時刻に集合場所にいない場合は棄権として処理する。

(2) トラック競技

- ア スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。スターティングブロックを使用する場合は、競技場備え付けのものを使用すること。スタートで同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。ただし、失格となった競技者はオープンとして引き続きレースに参加させる。(順位には含めない。)
- イ トラック競技決勝進出者の決定に際して同記録者があった場合は、規則第167条により処理する。

(3) リレー競技

- ア 予選のオーダー及び友好レース(控え選手の100m走)の出場競技者名を所定の用紙に記入し、9時までに郡市受付へ提出すること。決勝のオーダーは、予選のオーダーと同一とする。ただし、けが等やむをえない場合、決勝レースの40分前までに本部に連絡する。
- イ バトンは競技場備え付けのものを使用する。
- ウ リレー競走におけるテイク・オーバーゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- エ マーカーは各チームで用意する。各走者が使用できるマーカーは1つとする。レース後、次走者のつけたマーカーを必ずはずすこと。
- オ 各走者は危険防止のため、走り終わってから自分のレーンを走り、他のレーンに入らないこと。レース後、審判の指示に従い退場すること。

(4) ハードル競走

80mハードル走は、スタートから第1ハードルまで13m、ハードル間7m、最終ハードルからゴールまで11m、高さ70cm、9台で行う。

(5) 走幅跳について

A、Bピットに分かれて3回の試技を行い、記録上位者8名が更に3回の試技を行って(Aピット)順位を決定する。

(6) 走高跳

走高跳(はさみ跳び)は、マットへの着地は足裏からとし、背、腰などからの着地は無効試技とする。また、本大会では、高さ約30cmのマットを使用する予定。

走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

区分	練習							試技	
男子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以後、3cm	
女子	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	刻みで上げる。		

(7) ジャベリックボール投

(ルール)

- ア 試技順に従って1回ずつ投げ、3回の試技を行って順位を決定する。
- イ 助走距離は15m以内とし、投げた後もスターティングラインを超えてはいけない。
- ウ 測定方法は器具が地面に最初に触れた時点から計測する。
- エ 競技会実施中に器具の破損等が確認された場合、審判員の判断により除去するものとする。

(禁止事項)

- ア 羽を持つての投てき
- イ 回転投げ

12 大会申込み

(1) 提出物

- ①大会申込書(選手名簿、指導者名簿)
- ②各郡市予選会のプログラム
- ③予選会参加者数調査書
- ④参加料明細

なお、同意書は大会が終わるまでチームで保管する。

(2) 提出期限

- ①は平成30年6月15日(金)までにデータで提出すること。(富山市は大会終了後、速やかに提出すること)申込データの様式は6月上旬に富山陸上競技協会ホームページにアップする。

E-mail : shougakuseirikujo@yahoo.co.jp まで

大会申込書の郡市陸協会長印のあるものについては、大会当日(7月1日)に提出する。

②、③、④も大会当日に受付に提出する。

(3) 問い合わせ先

〒939-0992 富山市新庄1-6-30

富山市立新庄小学校 Tel 076(432)2773 FAX 076(432)2784

富山陸上競技協会 普及部 古木 大介

E-mail : shougakuseirikujo@yahoo.co.jp

13 表彰 各種目3位入賞者には、賞状とメダル、4～8位入賞者には賞状を授与する。

14 その他

- (1) ナンバーカードは、大会当日受付にて各郡市選手団に配付する。
- (2) 郡市予選会開催に10,000円の補助金を支給する。
- (3) 参加児童の傷害保険は主催者で加入する。
- (4) 当日、弁当が必要と思われる場合は各自で用意する。
- (5) 競技日程は大会前に「富山陸上競技協会」ホームページに掲載する予定。
- (6) 保護者の駐車場は、必ず指定された場所を利用する。

15 全国大会について

- (1) 出場資格 県大会における下記種目の男女優勝者
4×100mリレー(県大会と同一メンバーの5名)、5・6年生100m、
80mハードル、走幅跳、走高跳、ジャベリックボール投
- (2) 期 日 平成30年8月18日(金)・19日(土) 1泊2日
- (3) 場 所 神奈川県・日産スタジアム
- (4) 選手団 出場資格を得た選手22名及び総監督を含む指導者4名の計26名
- (5) 宿 泊 各県選手団は大会本部が指定する宿舎に宿泊する。
- (6) 経 費 選手団の宿泊費・交通費(日本陸上競技連盟の規定による実費)は、日本陸上競技連盟が負担する。
- (7) 合宿等 全国大会出場者を対象とした合同合宿(1泊2日)を7月21日(土)～22日(日)に総合体育センターにて行う予定。そのほかに練習会を数回行う。詳細は後日案内する。
- (8) 説明会 県大会終了後、出場資格を得た選手及び指導者、保護者を対象として全国大会についての説明会を行う。